



夏休み中に取り組んだそれぞれの課題や、入試勉強で、「この教科苦手だな。」と思っている人、あきらめないでください。図書館には、教科学習に役立つ本がたくさんあります。どこにあるか分からない時、見つからない時は、カウンターに尋ねてください。

既に電子書籍を読んで楽しんでいる人も多いと思いますが、天理市電子図書館でも貸出が始まりました！！電子図書館は、突然のお休みや、外に出られない時、図書館が閉館して借りることができないけれど、参考資料が必要な時にとても便利です。

詳しい使い方は、以下の URL か、  
<https://web.d-library.jp/tenri/g0101/top/>

右の QR コードから、電子図書館にアクセスして、「ご利用ガイド」を参考にして本を借りてください。



ただし、電子図書館で本を借りるには「図書館利用カード」が必要で、利用者 ID とパスワードを設定する必要があります。一度は、天理市立図書館に行って、カードを作成し、電子図書館を利用できるようにしてもらってくださいね。カウンターの方が詳しく説明してくれます。



**勉強する事にやる気がでないで悩んでいる人に、おすすめします！**

『勉強が面白くなる瞬間』  
パク・ソンヒョク 著 ダイヤモンド社

帯に、「『勉強するにはもう、手遅れでしょうか？』そう思うすべての人の人生が変わる一冊！」と書かれています。絶対にぶれない強い目標があれば、どんなに苦しくても努力は続けられる。この本には、勉強のコツではなく、ひたすら勉強することのモチベーションを上げるために、何をすべきかが書かれています。勉強は、本気かどうかで、結果は変わってきます。勉強するのに年齢や環境などは関係ない。あきらめない強い気持ちがあればいい。この本を読んでそう思いました。



「世界の『頭のいい人』がやっていることを  
1冊にまとめてみた」 中野 信子著 アスコム



東大、MENZA(メンサ)、フランスの研究所で知り合った、「頭のいい人」たちがやってきた事が、脳のメカニズムから見ても理にかなっていることを紹介しています。①敵を味方に変えていく。②グチをまったくいわない。③本からなんでも吸収する。など、彼らが日々心がけていることだそうです。彼らの日常の31の習慣を実践すれば、私たちの勉強、仕事、人生がうまくいくようになるという本です。この本を読んで本当に頭がいい人は、人間性も完璧な人であるということがわかりました。

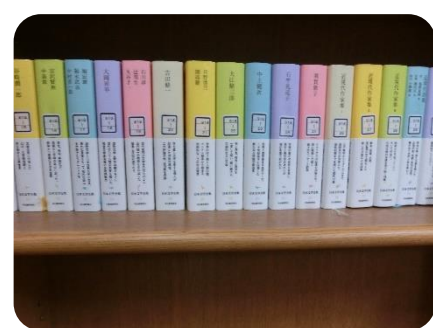
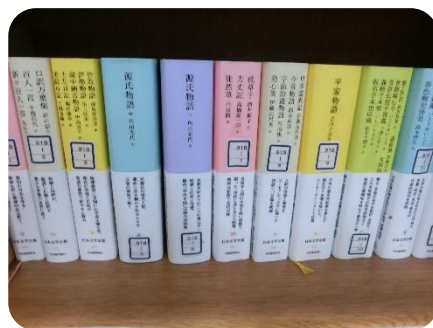
「解きたくなる数学」  
佐藤 雅彦 他著 岩波書店

「ピタゴラスイッチ」制作メンバーが作った数学問題集。写真とグラフィックで表現された23題が収録されています。ただ、数字を並べたものでなく、チョコレートやチーズ、ナットなど、実物を利用して作成された問題は、謎解きの問題を解くような楽しさがあります。数学の基礎がわかる上質の問題集はいかかでしょうか？



人気作家による  
現代語訳!!  
『日本文学  
全集』

古典は苦手という人にぜひ、読んでもらいたいシリーズです。「源氏物語」(角田光代 訳)「枕草子」(酒井順子 訳)「宇治拾遺物語」(町田康 訳)、「平家物語」(古川日出男 訳)、人気作家によるとても読みやすい現代語訳になっています。入試は、どの作品のどこが出るかはわかりませんが、もし訳を知っていれば、こんなにラッキーな事はありませんよね。物語としても十分に楽しめる全集です。全29巻。授業で習った作品から、読んでみてください。



「英語多読本コーナー」には、たくさんの英語本があります。本の表紙にレベルや単語数が書かれているので、自分の実力にあわせて本を選ぶことができます。

「多読」とは、  
1. 辞書はひかない。  
2. 分からないところは飛ばす。  
3. 合わないと思ったら、別の本にする。

以上の3点を意識して、どんどん読み進めていくうちに、自然と英語が身についていきます。外国や日本の名作はもちろんですが、ジブリ作品や、コミックの英語版もありますので、一度図書館に来て手に取ってください。

